

午後Ⅰ試験

問1

問1では、スタートアップ企業におけるITを活用した新たなビジネス領域の開拓について出題した。全体として正答率は平均的で、状況設定はおおむね理解されているようであった。

設問1は、正答率が低かった。Y社はAI関連技術を活用した動画解析に強みをもっていることと、設問文にある“Y社の提供するサービスが生かせる”という表現を適切に捉えるとともに、もっとも大きなニーズは防犯であることを理解してほしい。

設問2(3)は、正答率は平均的であったが、“遠隔地から現場へより適切な対応指示ができるため”などの解答が散見された。ニーズだけでなく、ニーズの阻害要因となっているネットワーク負荷の問題を捉えつつ、設問文でU社との業務提携に触れていることを踏まえ、U社の強みである動画の圧縮技術がどのように問題解決につながるのかを考えてほしい。

ITストラテジストは、経営戦略の実現に向けたITの活用施策を立案、実行していく。そのために、既存の枠組みにとらわれずに課題の解決策を検討し、複数の解決策から最適解を導く力をつけてほしい。

問2

問2では、行政機関によるITを活用した子育て支援の強化について出題した。全体として正答率は平均的であった。

設問1(1)は、正答率がやや低く、“M市の年齢別人口において、子育て適齢世代の割合が増加している状況”などの解答が散見された。年齢別人口の変化は、M市が自らの取り組みによる体制整備の成果であり、体制整備の成果と環境変化の双方を、M市が活用していることを理解してほしい。

設問2(2)は、正答率がやや低く“行政機関が子育て支援サービスの情報を共有する方法を確立できていない”、“子育て世帯から情報入手する手段が少なく、各世帯に合った情報提供が難しい”などの解答が見受けられた。子育て世帯が情報を入手しづらいことで、行政機関側で表面化している問題は何であるかを読み取ってほしい。

ITストラテジストは、対象となる事業などの環境を分析し、ITを活用した事業戦略を策定する能力を高めてほしい。

問3

問3では、ドラッグストアにおけるITを活用した新規サービス立上げについて出題した。全体として正答率は平均的で、状況設定はおおむね理解されているようであった。

設問1(1)は、正答率がやや低く、“近距離で用事が済ませられる”といった解答が見受けられた。これは、単なる顧客の希望であり、C社が小商圏の中心付近に店舗を出店する戦略をとる狙いについて解答してほしい。

設問3(1)は、正答率がやや低く、“都市部の医療機関を受診する顧客の通院などをサポートする”といった解答が見受けられた。C社が店舗でのサービスとオンラインでのサービスを融合して顧客体験を高めている具体的な内容が何であるかを読み取り解答してほしい。

ITストラテジストは、業種ごとの事業特性を踏まえて、経営戦略の実現に向けたITを活用した事業戦略を策定、推進する能力を高めてほしい。